

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	2	菊 地 忍	<u>ふるさと納税について</u> 1. 現在の納税額と今年度の見込額について伺う。 2. 次年度以降の施策と予実管理を伺う。 3. 当市の主な返礼品と今後想定している返礼品について伺う。 4. ふるさと納税の実施で当市の税収減はあるのか。 5. 今後、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用したPRを行ってはどうか。	市 長
			<u>地域再生計画について</u> 1. 企業版ふるさと納税について (1) 企業参加状況を伺う。 (2) 「企業版ふるさと納税」賛同企業獲得に向けて、今後どのように取り組んでいくか伺う。 (3) 参加促進のため命名権（ネーミングライツ）を導入してはどうか。 2. 人口減少対策について (1) 定年された方や他県からの移住者に対し、（仮）「おかえり割り」優遇措置を検討してはどうか。 (2) 岩沼市結婚新生活支援事業「岩沼で家族になろう！」の申込状況について伺う。	市 長
2	7	布 田 恵 美	<u>公共施設の維持管理について</u> 1. 岩沼市民会館について (1) 開館 30 周年を迎え、広く市民に愛されている施設である岩沼市民会館の施設環境について ① 施設についてどのような市民の声が届いているのか。 ② 樹木の管理はどのように行っているのか。 (2) 敷地内の通路などの傷み（隆起、ひび割れ等）について ① 現状をどのように認識しているのか。 ② 夜間の利用者が通路を安心して歩けるように整備すべきではないか。 (3) 敷地内駐車場の駐車区分の白線引きやスペースを見直すべきではないか。 2. 多目的グラウンドについて 先日 5 年ぶりに再開した多目的グラウンドのベンチも老朽化しているように見受けられる。多くの利用者が立ち寄る場所として、また災害時には隣	市 長 教育長

(続)	7	布田 恵美	<p>接する市民会館が避難場所となることから、岩沼駅前広場に設置している「かまどベンチ」への代替を検討してはどうか。</p>	市長
			<p><b>地方創生の推進について</b></p> <p>1. 市政報告で「亀塚第一住宅跡地及び公設小売市場跡地並びに駅前民有地等を活用した拠点形成について検討作業を開始いたしました」と述べられたが、その点について伺う。</p> <p>(1) 亀塚第一住宅跡地については、「子育て・障害者・高齢者支援を組み合わせた複合型福祉施設に温泉やカフェ等の交流機能を加えた拠点整備について提案を受けているところですが、地域住民の声はどのように反映しているのか。</p> <p>① 平成27年2月に岩沼市議会として初めての一般会議を岩沼市老人クラブ連合会と実施した。その際には「老人福祉の向上について」というテーマで意見交換を行い、同年3月に当時の教育民生常任委員会委員長の須藤功委員長から報告書も提出している。その中で交流施設設置を要望する声が多かったが、今回の企画立案には生かされているのか。</p> <p>(2) 公設小売市場跡地については、「地方創生関連交付金等を活用し、市民活動等の拠点として整備を検討」とあるが、どのような施設規模、内容を想定しているのか。</p> <p>① 市民活動に参画されている方々の声をどのように反映していくのか。</p> <p>② 利用者の移動手段として自家用車が多くなると想定されるが、駐車場は十分に確保できるのか。</p> <p>③ 場所柄、放課後や休日の中高生や青少年の活動拠点としての利用も望ましいと考えるが、そのような利用も視野に入れているのか。</p> <p>(3) 「駅前民有地等を活用した拠点形成」という点での「駅前民有地」は具体的にどのように関わってくるのか。</p>	市長
3	3	高橋 光孝	<p><b>震災復興について</b></p> <p>1. 仮設住宅も閉所し、復興のトップランナーとして進んでいる岩沼市の復興はあと2年で終わるといいますが、復興完了に至るまでに残っている事業について伺う。</p>	市長

(続)	3	高橋光孝	<p>2. 1の事業の進捗状況と今後の見込みを伺う。</p> <p>3. 震災復興のトップランナーである岩沼市には、今後大震災が起こった場合の復旧・復興の参考にしたいと、姉妹都市の南国市や友好都市の袋井市を初め、全国各地から視察に訪れている。復興完了を前に、反省点なども含め検証することがトップランナーとしての責務と考えるが、検証委員会などを立ち上げて検証を行う予定はあるか伺う。</p>	市長
			<p><b>防災・減災対策について</b></p> <p>11月26日に行われた岩沼市総合防災訓練は、訓練としては非常に良かったと思うが、実際に大雨、洪水及び土砂災害が起きた場合には、河川の氾濫や道路の冠水などにより交通が遮断されることが容易に想像できる。9・22等の水害を経験している岩沼市としては、災害に強いまちづくりをしていくため、河川の改修、冠水しそうな道路のかさ上げ、大規模な土砂災害が想定される場所等の砂防堰堤の整備や護岸工事など、長期計画を立てて対策を講じていく必要があると考えるがどうか。</p>	市長
			<p><b>インバウンド・観光対策について</b></p> <p>1. 6月定例会で質問した多言語のパンフレットの作成や案内板の設置などの進捗状況について伺う。</p> <p>2. 12月1日竹駒神社と千年希望の丘に、台湾の高校の校長たちが、修学旅行の前段として来日されたが、手ごたえはどうだったか伺う。</p> <p>3. 観光庁によると訪日外国人は台湾の旅行客が多いようである。市として台湾に対して営業活動を行ったり、今回視察に来た高校の校長や台南市台日友好交流協会に向けてアプローチは行わないのか伺う。</p> <p>4. 朝ドラや大河ドラマ、最近では映画「君の名は？」などの聖地巡礼の例を見ても分かるように、映画などのロケ地のインパクトは大きいことから、持続的な観光振興につながる観光資源として、岩沼市をロケ地として誘致できるような取組をしてはどうか伺う。</p>	市長
4	4	植田美枝子	<p><b>亀塚第一住宅の跡地について</b></p> <p>1. 亀塚第一住宅の跡地利用について</p> <p>(1) 提案を受けている団体に、公益社団法人青年海外協力協会とあるが、どのような団体で、どんな実績があるのか。</p>	市長

(続)	4	植 田 美枝子	<p>(2) 地域住民との意見交換を進めておりとあるが、いつ、どこで、どんな形で行ったのか。この先はどう進めるのか。</p> <p>(3) 複合型福祉施設の提案を受けているとあるが、提案の内容は具体的に、どのような内容か。</p> <p>(4) 複合型福祉施設と併設して、高層の市営住宅を建設してはどうか。</p> <p>(5) 亀塚保育所と相の原保育所を再編し、同協会へ移行するとなるとどういうことになるのか。</p>	市 長
			<p><u>さわやか市政推進課への市民からの意見や要望について</u></p> <p>1. 平成 27 年度は何件あり、どんな内容か。</p> <p>2. 当初、ご意見箱や市長への手紙などを設置した目的は何か。</p> <p>3. 個人情報に関わらない程度で、市民に知らせるべきと考えるがどうか。</p>	市 長
			<p><u>認知症初期総合支援について</u></p> <p>1. 認知症初期集中支援チームを設置したとあるが何人のチームで、活動日数は月どのくらいなのか。</p> <p>2. 子育てと親の介護のダブルケアの問題に対して、本市はどのように取り組んでいくか。</p> <p>3. 認認介護、老老介護、ダブルケアの世帯への支援策として、特別養護老人ホームなどへの優先入居を考えてはどうか。</p>	市 長
5	10	渡 辺 ふさ子	<p><u>汚染廃棄物の試験焼却について</u></p> <p>1. 村井知事が 11 月 3 日に開催した市町村長会議で、保管されている 8,000 ベクレル以下の放射能汚染廃棄物に一般廃棄物を 10 倍前後混ぜて全県で焼却し、焼却灰を既存の管理型処分場に処分する方針を打ち出した。放射性物質汚染対処特措法は知事に何の権限も付与していない。一般廃棄物は市町村の「自区内処理」が原則であり、県が指導するのは放射性物質汚染対処特措法に反するのではないか。</p> <p>2. 12 月 6 日の議員全員協議会で、12 月に住民説明、12 月下旬の市町村長会議（方針を決定）、来年 1 月から 2 月には試験焼却を開始するというスケジュール案が示された。放射能汚染が危惧され、住民合意が前提になる。焼却場と処分場の周辺住民や市民の意向確認をどのように進めるのか。</p> <p>3. 最終処分場は来年から外部委託にせざるを得ない状況であり、受け入れ先が決まらなければ、試験焼</p>	市 長

(続)	10	渡辺ふさ子	<p>却はできないのではないか。</p> <p>4. 一般廃棄物を混ぜて混焼したら減容効果がなく、いたずらに焼却灰をふやすだけである。焼却以外の対応と安全な管理を市町村長会議に提起すべきではないか。</p> <p>5. 焼却以外の処理方法で市町村が独自に処理することは可能であり、堆肥化、すき込み、林地還元が主な処理方法として示されている。岩沼市の汚染廃棄物は志賀地区のほだ木が86.1トンで100ベクレル以下である。市はどのような処理を考えているのか。</p> <p>6. 焼却炉のバグフィルターなどで放射性セシウムを99.9%除去できるという環境省の言い分が大前提となっているが、焼却前のセシウムと焼却後の主灰、飛灰のセシウムを測定して比較するという物質収支を評価しておらず、排気ガス中のセシウム濃度の測定法には研究者から批判があり、疑問が持たれている。どんな批判があり、学問研究がどういう到達点にあるか、市町村長会議で説明を求めるべきではないか。</p> <p>7. 放射線被ばくには低線量でも晩発性障害のリスクがあり、放射能は他の環境汚染物質と違い、これ以下なら安全だという閾値がない。当事者にメリットのない被ばくは正当化できないのが放射線防護の国際原則である。仮に20%程度の漏えいがあった場合の被ばくリスクはどのくらいになるのか、市町村長会議で説明を求めるべきではないか。</p> <p>8. 放射能への対処は、拡散させないで住民の被ばくを防ぎ、適正に管理することが基本である。試験焼却は住民を一方的に実験台にするものであり、納得できない。全県で一斉焼却する方針の撤回を求めるべきではないか。</p>	市長
			<p><b>仙台空港との共栄について</b></p> <p>仙台国際空港株式会社及び県から仙台空港民営化に伴う今後の取組について、11月4日の議員全員協議会で説明があった。空港運用時間の延長が重要な課題とされていたが、空港の24時間化については一言も言及がなかった。にもかかわらず、河北新報では「仙台空港の24時間化に向け、村井嘉浩知事は県議会などで『地元や周辺住民の理解を得ながら積極的に関与する』と前向きな姿勢を示しており」「仙台空港の運用時間延長に向けた調査費約3,000万円を、県議会11月定例会に</p>	市長

(続)	10	渡辺ふさ子	提出」と報道されている。24時間化を市長はどう受け止めているか伺う。	市長
6	1	佐藤剛太	<p><b>今後の学校施設のあり方について</b></p> <p>1. 学校施設の長寿命化計画について</p> <p>(1) 進捗状況と策定期間について伺う。</p> <p>(2) 計画を策定するに当たり、どのような検査項目があるのか伺う。</p> <p>(3) 多くの市内公共施設が長寿命化計画を実施する際に、学校施設を優先して行うことが必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(4) 学校施設を補修した場合、その後の使用可能年数を伺う。</p> <p>(5) 長寿命化のメリットは何か伺う。</p> <p>2. 学校施設の新設について</p> <p>(1) 文科省から受けられる補助率は、長寿命化と新設では違いがあるのか伺う。</p> <p>(2) 新設する場合は、どの程度の費用が必要になるのか伺う。</p> <p>① 西小学校の規模の場合</p> <p>② 南小学校の規模の場合</p> <p>3. 学校施設の理想像について</p> <p>本市における目指すべき学校施設像とはどのようなものか。</p> <p>4. 避難所となる学校施設について</p> <p>(1) どのような基準で避難所に選定しているのか伺う。</p> <p>(2) 学校管理者が不在の場合は、施設利用の判断をどのように定めているのか伺う。</p> <p>(3) 避難所としての備えについて</p> <p>① 衣料品、水、食料などの備蓄品はどれくらいあるのか伺う。</p> <p>② 施設のバリアフリー化など利用者のニーズに適しているか伺う。</p> <p>5. 教育環境整備の充実について</p> <p>学校施設の長寿命化対策などにより教育環境を充実させることで、子育て世代がふえると考えるが見解を伺う。</p>	市長 教育長
			<p><b>県道岩沼蔵王線に係る道路改良事業について</b></p> <p>1. 平成30年の大師・姥ヶ懐間トンネル開通に伴い、本市ではどのような効果があると考えているか。</p>	市長

(続)	1	佐藤 剛太	<p>2. 村田町や仙南地域の自治体と観光や地方創生において積極的に連携していくことが必要と考えるが、現況と今後の取組を伺う。</p> <p>3. 道路利用者の休憩所や、地域振興に活用できる場所が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>4. 今年度、トンネルがある志賀地区において土砂災害警戒区域がさらに拡大された。志賀地区は、過去にゲリラ豪雨などにより大きな被害があった。道路利用者や住民が安全に利用できる避難場所の整備が必要と考えるが見解を伺う。</p>	市長
7	1 1	佐藤 一郎	<p><b>国民健康保険について</b></p> <p>1. 国民健康保険税の滞納の要因は何か。</p> <p>2. 資産割の該当者のうち60歳以上の方の割合はどうか。</p> <p>3. 資産割が税率14.5%となっている。見直しや廃止を検討すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>4. 後期高齢者支援金分75歳以上の資産割税率4.8%、介護納付金分の資産割税率4%について今後どのように考えているのか。</p> <p>5. 国保の県単位化へのスケジュールはどのようになっているのか。</p> <p>6. 県単位化により、どのような点が変わるのか。</p> <p>7. 県単位化に伴う市の負担はどのようになるのか。</p>	市長
8	1 4	長田 忠広	<p><b>総合防災訓練について</b></p> <p>1. 全体の総括を伺う。</p> <p>2. 防災訓練を通し、今後の防災対策の流れを伺う。</p> <p>3. 避難所開設について</p> <p>(1) 開設に至るまでの段取りについて総括を伺う。</p> <p>(2) 避難所ごとに自主防災組織と連携し、初動期の対策を行う必要があると思うがどうか伺う。</p> <p>(3) 避難所ごとのマニュアルを作成してはどうか伺う。</p> <p><b>児童虐待対策について</b></p> <p>1. 11月は厚生労働省が定める「児童虐待防止推進月間」だが、市として、どのような啓発活動を行ったか伺う。</p> <p>2. 当市の児童虐待の実態と対策を伺う。</p> <p>3. 妊娠から育児までワンストップで切れ目なくサポートする「子育て世代包括支援センター」の活動状況を伺う。</p>	市長

(続)	14	長田忠広	<p><b>食品ロスの削減について</b></p> <p>1. 食品ロスを削減するための啓発活動をどのように進めてきたか伺う。</p> <p>2. 学校給食や食育・環境教育などでの食品ロスを削減するための啓発活動をどのように進めてきたか伺う。</p> <p>3. 飲食店等と連携し、「3010運動」や「残さず食べる運動」など、市民・事業者が一体となった食品ロスの削減に向けての取組を進めるべきと考えるがどうか伺う。</p>	市長 教育長
9	8	酒井信幸	<p><b>避難のあり方について</b></p> <p>1. 岩沼市総合防災訓練について</p> <p>(1) 45町内会・自治会の避難計画はどのようなものだったか伺う。</p> <p>(2) 45町内会・自治会が避難した状況の確認を行ったか伺う。</p> <p>(3) 町内会・自治会に要配慮者の情報は伝わっていると思うが、避難するに当たり、今後問題となることはないのか伺う。</p> <p>(4) 今後も、市全体での避難訓練を考えているのか伺う。</p> <p>2. 避難場所について</p> <p>(1) 避難場所の再検討について伺う。</p> <p>(2) 阿武隈川が決壊した場合のことを想定して、市内の民間高層階のビル（マンション・アパート・事業所等）を、非常時の避難場所とするべく協定を結んではどうか伺う。</p> <p>3. 防災啓発について</p> <p>(1) 洪水ハザードマップの配布は、いつごろになるのか伺う。</p> <p>(2) 市防災アプリの周知はどのように行っているのか伺う。</p>	市長
			<p><b>公設小売市場跡地利用について</b></p> <p>1. 市政報告で、公設小売市場跡地について市民活動等の拠点として整備を検討すると述べているが、どのような活動拠点を考えているのか伺う。</p> <p>2. 整備するに当たり、近隣住民等の意見を反映しているのか伺う。</p> <p>3. いつごろまでに整備を行うのか伺う。</p>	市長

(続)	8	酒井信幸	<u>高齢者の運転免許自主返納に係る支援制度の創設について</u> 今後、市として高齢者に対する運転免許自主返納に係る支援制度を、新たに創設してはどうか伺う。	市長
10	13	布田一民	<u>子どもたちを取り巻く環境の変化を踏まえた保育行政の方向性について</u> 1. 保育所保育指針の改定における幼児教育について (1) 乳児・1歳以上3歳未満児保育の重要性について伺う。 (2) 乳児・1歳以上3歳未満児の保育内容のあり方について伺う。 (3) 保育所保育における教育のあり方について伺う。 2. 環境の変化を踏まえた保育所の健康対策について伺う。	市長
11	5	佐藤淳一	<u>災害への備えについて</u> 1. 総合防災訓練の成果と課題及び防災意識の啓発について (1) 今回の総合訓練でどのような成果が得られたのか。 (2) 訓練結果を踏まえ、課題を検証するとの市政報告があったが、参加機関等との連携を踏まえ、今後どのように改善し備えていくのか。 (3) 土砂災害ハザードマップ及び洪水ハザードマップをどのように活用したのか、またしていくのか。 (4) 訓練は休日の日中に行われることが多いが、災害の発生確率として平日のほうが高く、昼間と夜間の割合も半々と想定されている。平日昼間に災害が起こった場合、市内にいる住民の年齢、職業、性別などの構成が今回の訓練時とは違うものと想定される。その場合の避難時の問題点や避難所の運営などへの対応は、どのように対応させていくのか。 (5) 市内企業の防災計画の現状と、企業、市、町内会・自治会などとの連携についてはどのように考えるか。 2. 防災コミュニティセンターと災害対応について (1) 防災コミュニティセンターの役割などについて ① 災害時における公民館との役割の違いは何か。	市長

(続)	5	佐藤 淳一	<p>② 公民館と比べ職員体制や取り組む事業に違いはあるのか。</p> <p>③ 地区防災の拠点施設として活用していくものとするが、その場合、どのような役割や活用方法を考えているのか。</p> <p>(2) 各種団体との連携と今後の拠点整備について</p> <p>① 災害時には、町内会・自治会や地元消防団、さらには自衛隊や市職員などが集まり最前線の拠点になることが想定されると思うが、本部との連携や拠点運営にはどのように対応していくのか。</p> <p>② 市中央部には市役所や消防署があり、東部地区には(仮称)「東部地区防災コミュニティセンター」が建設中である。しかし、人口が増加し都市化が進んでいる西部地区には災害時の核となる施設がないように感じる。阿武隈川の氾濫による災害(浸水)では市役所や消防署、そして建設中の(仮称)「東部地区防災コミュニティセンター」も浸水区域の中に存在している。市内で浸水しない地域で、かつ土砂災害などの危険のない地域は西部地区の一部であると想定されているが、その安全とされている地域に防災拠点施設が存在していない。住民の安心安全、市域の均衡ある発展という観点から考えて、西部地区に防災拠点が必要と考えるがどうか。</p>	市長
-----	---	-------	--	----